

2022年度全日本吹奏楽コンクール 課題曲 Trumpet ワンポイント・アドバイス

吹部
Navi

I やまがたふあんたじい～吹奏楽のための～

作曲：杉浦 邦弘

15小節目、35小節目のように16分音符をスラーで吹く形が何度も出てきます。指がすべるとリズムが転んでしまうのでピストンを素早く正確に動かしましょう。31～34小節は8分音符の刻みをそろえることが大切です。タイミングだけでなく音形も含めてパートでよく合わせてください。104小節目からのフレーズは音域が低めなのでスタッカートが付いていることも意識し、はっきり吹くよう心がけましょう。167小節目からはメロディが3パートに分けて書かれています。3パートで1つのメロディラインを演奏するよう意識してパート練習をしてください。

II マーチ「ブルー・スプリング」

作曲：鈴木 雅史

冒頭のファンファーレはスピード感を大事に。4小節目のように裏拍から入るところは遅れがちです。特に16分音符ははっきり吹きましょう。[E]からのメロディはフレーズを大事にするため、ブレスの直前の音の処理を丁寧に演奏しましょう。ユニゾンなのでブレスの位置をずらしてもいいかもしれません。57小節目の1拍ずつずれて入るところは縦だけでなく、音量のバランスにも気を配りましょう。

曲全体に16分音符を含むリズムが出てきます。ダブルタンギングで吹いたほうが揃えやすいと思います。

III ジェネシス

作曲：鈴木 英史

多くのフレーズをハーモニーで演奏する場面が多いので、とにかくパート内でハーモニーを合わせるのが大切です。時々ユニゾンになるところもピッチの確認はしておきましょう。7小節目など3パートで同じリズムを交代で吹くところは縦を合わせるだけでなく、ひとつのラインとして演奏することを意識すると受け渡しが自然になると思います。裏拍に16分音符2つを演奏するところが多くありますが、入りが遅れないようメトロノームを活用してよく練習しましょう。ハーモニーをよく合わせ、よい響きを作るためにも基礎練習でのハーモニーの練習は欠かせません。パート練習でもぜひ取り組んでください。

IV サーカスハットマーチ

作曲：奥本 伴在

曲の冒頭部のリズムを刻むところ、[B]の2小節目のメロディの部分などスタッカートでの演奏が多く出てきます。音を短く吹こうとして息が詰まってしまうと響きのない音になってしまいます。スタッカートがついていても息はきちんと入れて吹くことを意識しましょう。息のスピードを早めにして歯切れよく吹くイメージを持つといいと思います。16分音符がたくさんできますが、テンポの速い曲なのでダブルタンギングで演奏するほうが縦、音形ともに合わせやすいと思います。[G]からのユニゾンのメロディは必要があればブレスの位置をずらすことも試してみましょう。

V 憂いの記憶－吹奏楽の為の

作曲：前川 保

4, 5小節目のようにクレッシェンド、デクレッシェンドがある部分は強弱の幅、音量を変えるタイミングも合わせることを意識しましょう。22, 23小節の入りがずれていくところはメトロノームを使い、まずはパート内で縦が合うよう練習してください。34～42小節は入りがずれませんが、ひとつのフレーズを3パートで分割しながら演奏する形になっています。一本のラインになるようにイメージを持って演奏しましょう。48小節目に出てくるような16分音符の6連符は指がすべらないよう、テンポを落としてよく練習してください。